

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

| | | |
|-------|---|-----------------------|
| 製品名 | : | OXY-BLOCKER |
| 用途 | : | 液体シーリング剤 |
| 会社情報 | : | |
| 会社名 | : | 株式会社IHI回転機械エンジニアリング |
| 担当部署 | : | 国内アフターサービス営業部 |
| 住所 | : | 神奈川県横浜市磯子区新中原町1番地 |
| 電話番号 | : | 045-522-5322 |
| 緊急連絡先 | : | 045-522-5322 |
| FAX番号 | : | 045-522-5341 |
| 製造者 | : | 株式会社中央発明研究所 |
| 住所 | : | 東京都西多摩郡瑞穂町二本木字杉並539番地 |
| 改定日 | : | 2022年4月22日 |

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類

物理化学的危険性

| | | |
|-----------|---|----------|
| 爆発物 | : | 区分に該当しない |
| 可燃性ガス | : | 区分に該当しない |
| エアゾール | : | 区分に該当しない |
| 酸化性ガス | : | 区分に該当しない |
| 高压ガス | : | 区分に該当しない |
| 引火性液体 | : | 区分に該当しない |
| 可燃性固体 | : | 区分に該当しない |
| 自己反応性化学品 | : | 区分に該当しない |
| 自然発火性液体 | : | 分類できない |
| 自然発火性固体 | : | 区分に該当しない |
| 自己発熱性化学品 | : | 分類できない |
| 水反応可燃性化学品 | : | 区分に該当しない |
| 酸化性液体 | : | 区分に該当しない |
| 酸化性固体 | : | 区分に該当しない |
| 有機過酸化物 | : | 区分に該当しない |
| 金属腐食性物質 | : | 分類できない |
| 鈍性化爆発物 | : | 分類できない |

健康に対する有害性

| | | |
|-----------------|---|----------|
| 急性毒性（経口） | : | 区分4 |
| 急性毒性（経皮） | : | 分類できない |
| 急性毒性（吸入：ガス） | : | 区分に該当しない |
| 急性毒性（吸入：蒸気） | : | 分類できない |
| 急性毒性（吸入：ミスト） | : | 分類できない |
| 皮膚腐食性／刺激性 | : | 区分1B |
| 眼に対する重篤な損傷性／刺激性 | : | 区分1 |
| 呼吸器感作性 | : | 分類できない |
| 皮膚感作性 | : | 分類できない |
| 生殖細胞変異原性 | : | 分類できない |
| 発がん性 | : | 分類できない |
| 生殖毒性 | : | 分類できない |
| 特定標的臓器毒性（単回ばく露） | : | 分類できない |
| 特定標的臓器毒性（反復ばく露） | : | 分類できない |
| 誤えん有害性 | : | 分類できない |

環境に対する有害性

| | | |
|----------------|---|--------|
| 水生環境有害性 短期（急性） | : | 分類できない |
| 水生環境有害性 長期（慢性） | : | 分類できない |
| オゾン層への有害性 | : | 分類できない |

GHSラベル要素
絵表示



注意喚起語

危険

危険有害性情報

- ・ 飲み込むと有害
- ・ 重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷

注意書き

安全対策

- ・ 保護手袋・保護衣・保護眼鏡・保護面を着用すること。
- ・ この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
- ・ 取扱い後はよく手、顔を洗うこと。

応急措置

- ・ 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。気分が悪い時は、医師の手当を受ける。
- ・ 皮膚（または髪）に付着した場合 : 汚染された衣類を脱ぎ、多量の水と石鹸で洗う。皮膚刺激が生じた場合、医師の手当てを受ける。
- ・ 眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗う。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。眼の刺激が続く場合は、医師の手当てを受ける。
- ・ 飲み込んだ場合 : 無理に吐き出させようとしない。水でよく口の中を洗浄し、コップ2杯の水を飲ませる。気分が悪ければ医師の手当てを受ける。意識がなければ口から何も与えず、直ちに医師の手当てを受ける。

保管

- ・ 直射日光、高温を避け、容器を密閉して保管すること。

廃棄

- ・ 内容物及び容器は管轄する都道府県知事の産業廃棄物収集運搬業・処分業の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

組成・成分

| 化学名 | 濃度又は濃度範囲 (wt%) | CAS No. | 官報公示整理番号 |
|-----------|----------------|---------|----------|
| 珪酸ナトリウム溶液 | 70～75 | 非開示 | 化審法-既存 |
| マイカ | 15～20 | 非開示 | 化審法-既存 |
| 合成非結晶性シリカ | 1～5 | 非開示 | 化審法-既存 |
| 水 | 残 | - | - |

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。
気分が悪い時は、医師の手当を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 汚染された衣類を脱ぎ、多量の水と石鹸で洗う。皮膚刺激が生じた場合、医師の手当てを受ける。
- 目に入った場合 : 水で数分間注意深く洗う。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。
目の刺激が続く場合は、医師の手当てを受ける。
- 飲み込んだ場合 : 無理に吐き出させようとしない。水でよく口の中を洗浄し、コップ2杯の水を飲ませる。気分が悪ければ医師の手当てを受ける。
意識がなければ口から何も与えず、直ちに医師の手当てを受ける。

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : この製品自体は、燃焼しない。
- 使ってはならない消火剤 : この製品自体は、燃焼しない。
- 特有の消火方法 : 周辺火災の場合は、速やかに容器を安全な場所に移す。
移動不可能な場合は、周囲に散水して冷却する。
- 消火を行う者の特別な保護具及び予防措置 : 消火作業の際は、適切な自給式の呼吸保護具、眼や皮膚を保護する防護服（耐熱性）を着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 作業の際には保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、吸入しないようにする。風上から作業をし、風下の人を退避させる。
屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。
- 環境に対する注意事項 : 流出した製品が河川等に排出され、環境に影響を与えないように注意する。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 少量の場合には、乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策 : 取扱いは換気の良い場所で行う。
目、皮膚および衣類に触れないよう適切な保護具を着用する。
- 安全取り扱い注意事項 : 保護手袋・保護衣・保護眼鏡・保護面を着用すること。
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
取扱い後はよく手、顔を洗うこと。
容器を転倒させたり、落下させたり、衝撃を加えたり、または引きずるなどの粗暴な取扱いをしない。

保管

- 技術的対策 : 直射日光、高温を避け、容器を密閉して保管すること。
- 安全な容器包装材料 : スチール、ポリエチレン、ポリプロピレン

8. ばく露防止及び保護措置

| 化学名 | 管理濃度 | 許容濃度(衛生学会) (第三種粉塵) | 許容濃度(ACGIH) |
|-----|----------|---|-------------|
| マイカ | 設定されていない | 吸入性粉塵2 mg/m ³ 総粉塵8mg/m ³ | 設定されていない |

- 設備対策 : 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。
全体換気装置または局所排気装置を設ける。

保護具

- 呼吸器の保護具 : 防じんマスク（飛沫防止用）
- 手の保護具 : 溶剤用保護手袋
- 目の保護具 : 保護眼鏡またはゴーグル
- 皮膚及び身体の保護具 : 化学用エプロンまたは保護前掛け
安全靴または保護長靴

9. 物理的及び化学的性質

- 物理状態 : 液体／ペースト
- 色 : 黄褐色
- 臭い : わずかな特異臭
- 融点 : 情報なし
- 沸点 : 100℃以上
- 可燃性 : 不燃
- 爆発下限界及び爆発
上限界／可燃限界 : 情報なし
- 引火点 : 情報なし
- 自然発火点 : 情報なし
- 分解温度 : 情報なし
- pH : 情報なし
- 動粘性率 : 情報なし
- 粘度 : 200,000～400,000mPa・s
- 溶解度 : 水と任意の割合で混合できる。
- n-オクタノール／水分係数 : 情報なし
- 蒸気圧 : 情報なし
- 密度 : 1.6～1.8g/cm³ (25℃)
- 相対ガス密度 : 該当しない
- 粒子特性 : 該当しない

10. 安定性及び反応性

| | | |
|-----------|---|-----------------|
| 反応性 | : | 通常の取り扱いでは安定である。 |
| 化学的安定性 | : | 通常の取り扱いでは安定である。 |
| 危険有害反応可能性 | : | 通常の取り扱いでは安定である。 |
| 避けるべき条件 | : | 通常の取り扱いでは安定である。 |
| 混触危険物質 | : | 知見なし |
| 危険有害分解生成物 | : | 知見なし |

11. 有害性情報

| | | | | |
|----------------------|---------|---------|--------------------------------|------------|
| 急性毒性 | 経口 | : | ラットLD ₅₀ 1,800mg/kg | (区分4) |
| | 経皮 | : | 情報なし | (分類できない) |
| | 吸入(ガス) | : | GHS定義による液体である。 | (区分に該当しない) |
| | 吸入(蒸気) | : | 情報なし | (分類できない) |
| | 吸入(ミスト) | : | 情報なし | (分類できない) |
| 皮膚腐食性/刺激性 | : | 製品の判定基準 | | (区分1B) |
| 眼に対する重篤な損傷性 /眼刺激性 | : | 製品の判定基準 | | (区分1) |
| 呼吸器感作性 | : | 情報なし | | (分類できない) |
| 皮膚感作性 | : | 情報なし | | (分類できない) |
| 生殖細胞変異原性 | : | 情報なし | | (分類できない) |
| 発がん性 | : | 情報なし | | (分類できない) |
| 生殖毒性 | : | 情報なし | | (分類できない) |
| 特定標的臓器毒性 (単回ばく露) | : | 情報なし | | (分類できない) |
| 特定標的臓器毒性 (反復ばく露) | : | 情報なし | | (分類できない) |
| 誤えん有害性 | : | 情報なし | | (分類できない) |

12. 環境影響情報

| | | | | |
|-----------|--------|-------------------------|------|----------|
| 生態毒性 | | | | |
| 水生環境有害性 | 短期(急性) | : | 情報なし | (分類できない) |
| 水生環境有害性 | 長期(慢性) | : | 情報なし | (分類できない) |
| 残留性/分解性 | : | 情報なし | | |
| 生体蓄積性 | : | 情報なし | | |
| 土壤中の移動性 | : | 情報なし | | |
| オゾン層への有害性 | : | モントリオール議定書の付属書に列挙されていない | | (分類できない) |

13. 廃棄上の注意

- 残余廃棄物 : 内容物及び容器は管轄する都道府県知事の産業廃棄物収集運搬業・処分業の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託すること。
- 汚染容器及び包装の安全な廃棄、リサイクルに関する情報 : 内容物を完全に除去した後に処理を委託する。
洗浄に用いた廃液は残余廃棄物と同様の処理を行う。
-

14. 輸送上の注意

- 国際規制
- 国連分類 : 該当しない
- 国連番号 : 該当しない
- 品名（国連輸送名） : 該当しない
- 容器等級 : 該当しない
- 国内規制 : 適用法令に従い、包装、表示、輸送を行う。
- 輸送の特定の安全対策及び条件 : 輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。
直射日光、高温を避ける。
-

15. 適用法令

- 化管法（PRTR法） : 該当しない
- 消防法 : 該当しない
- 毒物及び劇物取締法 : 該当しない
- 労働安全衛生法 : 該当しない
-

16. その他の情報

引用文献

- (1) GHSに基づく化学品の分類方法-JIS Z 7252 : 2019
 - (2) GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法－ラベル、作業場内の表示及び安全データシート（SDS）-JIS Z 7253 : 2019
 - (3) 化学品の分類および表示に関する世界調和システム（GHS）改訂6版 化学工業日報社
 - (4) 独立行政法人製品評価技術基盤機構 GHS分類結果データベース
 - (5) 安全衛生情報センター GHS対応モデルラベル・モデルSDS情報
-

記載内容の取扱い

本安全データシートは、現時点で入手できる最新の資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、安全データシート中の注意事項は通常の取扱いを対象としたものです。製品使用者が特殊な取扱いをされる場合は用途、使用方法に適した安全対策を実施の上、製品を使用してください。また、当社は記載内容について十分注意を払っていますが、その内容を保証するものではありません。